

平成24年3月期 中間決算の概要

当中間期のクローラクレーンの需要は、先進国地域では依然として各国の景気回復が遅れており、低迷や減少が続いておりますが、新興国地域はアジア地域を主体に増加基調にあり、世界全体では前中間期より増加しました。しかしながら、為替の円高定着や資材価格の上昇などにより、当中間期においても極めて厳しい事業環境で推移しました。

国内市場は震災の影響による経済の打撃は最小限に留まったものの、公共工事・民間工事ともに動きが鈍く、景気の先行き不透明感から引き続き新車購入に慎重な姿勢が見られ、クローラクレーン新車需要は前年同期比10%の減少となりました。

海外市場は、主要市場の北米や西欧では景気低迷により需要回復にはいたっておりません。新興国市場では、中国政府の内需刺激策により引き続き需要が増加しました。その他アジア地域においても需要は増加傾向にあります。

世界全体の需要は総じて前年より増加しましたが、国や地域によって需要回復の程度は斑ら模様を呈しておりました。

こうした厳しい市場環境の中、当社は原価低減、固定費低減、在庫削減など各種施策に取り組んだ結果、当中間期の業績は以下の通りとなりました。

【平成24年3月期中間の経営成績（連結）】

(%表示は対前中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
当中間期	13,544	11.1	262	—	152	—	Δ8	—
前中間期	12,187	Δ17.7	Δ1,508	—	Δ1,577	—	Δ976	—
前期	23,150		Δ2,238		Δ2,311		Δ2,316	

国内事業については、新車の販売数は減少しましたが、比較的単価が高い機種種の販売や、サービス部品の拡販に取り組んだ結果、当期の国内売上高は6,446百万円（前年同期比100%）となりました。

海外事業については、北米ではLink-Belt Construction Equipment Company、欧州地域においては、Hitachi Construction Machinery (Europe) N.V.、中国では子会社の日立住友重機械建機起重機（上海）有限公司など各地域の代理店と連携し、代理店の販売支援や新興市場の開拓に努めた結果、当期の海外売上高は、7,098百万円（前年同期比124%）となりました。

世界経済は依然、先行き不透明な状況が続くと予想されますが、クローラクレーン市場の世界需要は緩やかながらも回復基調にあることから、以下の重点方針を推進することで、引き続き、競争力の有るスリムな事業体質の構築を目指します。

- 1) 徹底した原価低減を推進します。
- 2) 市場の要求に合った新機種開発を継続的に推進します。
- 3) 顧客満足度のさらなる向上を目指し、関係会社及び代理店との連携強化を図ります。
- 4) 更なる固定費の削減を推進します。
- 5) キャッシュフローの改善を図るとともに、内部統制を重視して企業体質の強化を図ります。

(お問い合わせ先)
日立住友重機械建機クレーン株式会社
経営企画部
Tel/ (03)3845-1386 Fax/ (03)3845-1379
〒110-0015 東京都台東区東上野六丁目9番3号
URL/ <http://www.hsc-crane.com>